

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-110623

(43) 公開日 平成4年(1992)9月25日

(51) Int. Cl.⁵

B 6 0 K 26/02

G 0 5 G 1/14

識別記号

庁内整理番号

7140-3D

Z 8009-3J

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全3頁)

(21) 出願番号 実願平3-6145

(22) 出願日 平成3年(1991)1月22日

(71) 出願人 000006286

三菱自動車工業株式会社

東京都港区芝五丁目33番8号

(72) 考案者 金子 由紀夫

東京都港区芝五丁目33番8号 三菱自動車
工業株式会社内

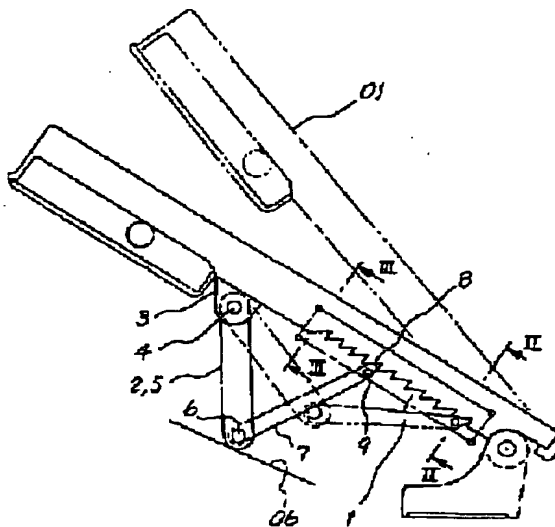
(74) 代理人 弁理士 塚本 正文

(54) 【考案の名称】 ストッパー付アクセルペダル

(57) 【要約】

【目的】 ダッシュボードとアクセルペダルとの間の空間がせまい場合でもダッシュボードに透孔を設けることなくストッパーの取付け及び調整を容易に行うことのできるストッパー付アクセルペダル。

【構成】 運転室フロアに突設されたブラケットにピンで下端が枢着され前傾姿勢で斜め前上方に延びるアクセルペダルにおいて、上記アクセルペダル01の下部下面に長手方向の適宜長にわたって形成された鋸歯状歯1と、上記鋸止状歯の若干前方で上記アクセルペダルの下面に上端がピンで枢着され中部がピンで中折れ自在に屈曲するV字状2つ折りリンク2と、上記2つ折りリンクの後端に形成され上記鋸止状歯に嵌着する固定手段9、10とを具える、又は2つ折りリンク及び鋸歯状歯をダッシュボードに取り付ける。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 運転室フロアに突設されたブラケットにピンで下端が枢着され前傾姿勢で斜め前上方に延びるアクセルペダルにおいて、上記アクセルペダルの下部下面に長手方向の適宜長にわたって形成された鋸歯状歯と、上記鋸歯状歯の若干前方で上記アクセルペダルの下面に上端がピンで枢着され尖部がピンで中折れ自在に屈曲するV字状2つ折りリンクと、上記2つ折りリンクの後端に形成され上記鋸歯状歯に依着する固定手段とを具えたことを特徴とするストッパー付アクセルペダル。

【請求項2】 運転室フロアに突設されたブラケットにピンで下端が枢着され前傾姿勢で斜め前上方に延びるアクセルペダルにおいて、ダッシュボード上に上記アクセルペダルに対向して固着された前後方向に延びる鋸歯状歯と、上記鋸歯状歯の前端で上端がピンで枢着され尖部がピンで中折れ自在に屈曲する倒立V字状2つ折りリンクと、上記2つ折りリンクの後端に形成され上記鋸歯状歯に依着する固定手段とを具えたことを特徴とするストッパー付アクセルペダル。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例を示す側面図である。

【図2】 図1のII-II断面図である。

【図3】 図1のIII-III断面図である。

2

【図4】 図1の変形例を示す同じく側面図である。

【図5】 図4のV部を示す拡大図である。

【図6】 公知の自動車のアクセルペダルを示す側面図である。

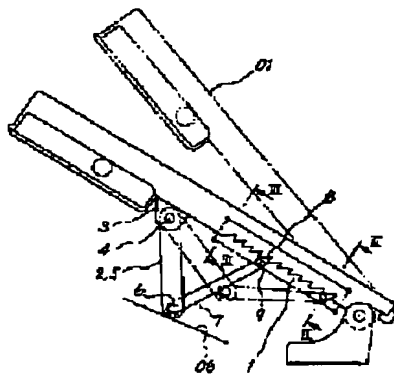
【図7】 図6のストッパーの変形例を示す同じく側面図である。

【0012】

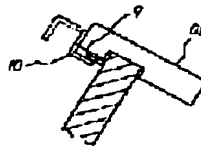
【符号の説明】

- | | |
|----|---------|
| 1 | 鋸歯状歯 |
| 2 | 2つ折りリンク |
| 3 | アイピース |
| 4 | ピン |
| 5 | 上部リンク |
| 6 | ピン |
| 7 | 下部リンク |
| 8 | 爪 |
| 9 | ロックピン |
| 10 | ロックヒンジ |
| 11 | ヘッドピン |
| 12 | 小口溝 |
| 01 | アクセルペダル |
| 06 | ダッシュボード |

【図1】



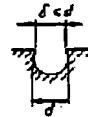
【図2】



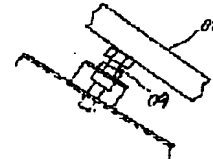
【図3】



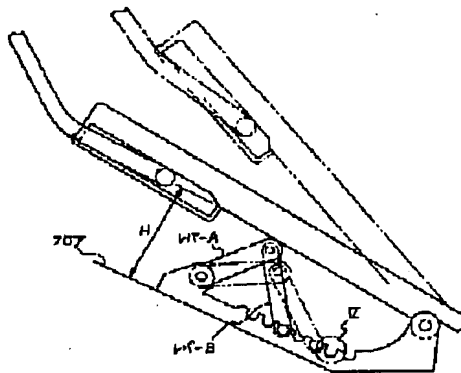
【図5】



【図7】



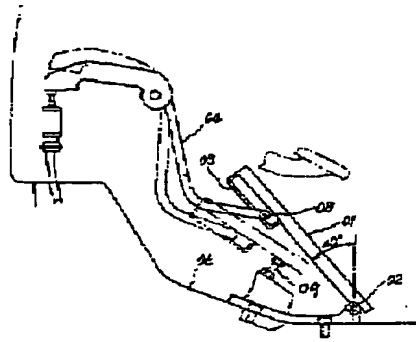
【図4】



(3)

发明平4-110623

【图6】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案はストッパー付アクセルペダルに関する。

【0002】

【従来の技術】

自動車のアクセルペダル機構としては、従来、下端支点がフロアに枢着されたアクセルペダルの上部と、上部支点で中部が枢支された異形Z字状アクセルレバーの下端とを摺動自在に係合してなる構造のものが広く知られている。

すなわち、図6側面図において、01はアクセルペダルでその下端はドライバーシートのフロア前端に支点ピン02で枢着され、その上端は約40°の前傾角度θで斜め前上方に延び、上部には後記する異形Z字状アクセルレバーの下端に係合するガイド03が付設されている。

04は異形Z字状アクセルレバーで、その支点05はダッシュボード06のほぼ上端の高さにあり、支点05から前方へ延びる水平レバー部の前端にはアクセルケーブル07の上端が固定され、支点05から下方へ延びるL字状レバー部の下端ピン08がアクセルペダル01のガイド03に係合している。

このような構造において、アクセルペダル01をフルスロットル位置まで踏むときは、アクセルペダルがダッシュボード06に突設されたストッパーボルト09に当接して停止する。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

ところで、ダッシュボードの下方空間にはヘッドライト系部材、吸気管系部材等が取付けられており、車種によってはオプションの多様化に伴い、アクセルペダルとダッシュボードとの間のすきまが小さくなるために図7に示すように、ストッパーボルトをダッシュボードに貫通することとなる。しかしながら、こうなると、ダッシュボードの下方空間の有効利用が制約を受けることになる。

【0004】

本考案はこのような事情に鑑みて提案されたもので、ダッシュボードとアクセル

ペダルとの間の空間が狭い場合でもダッシュボードに透孔を設けることなくストッパーの取付け及び調整を容易に行うことのできるストッパー付アクセルペダルを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

そのために本考案は、運転室フロアに突設されたブラケットにピンで下端が枢着され前傾姿勢で斜め前上方に延びるアクセルペダルにおいて、上記アクセルペダルの下部下面に長手方向の適宜長にわたって形成された鋸歯状歯と、上記鋸止状歯の若干前方で上記アクセルペダルの下面に上端がピンで枢着され中央部がピンで中折れ自在に屈曲するV字状2つ折りリンクと、上記2つ折りリンクの後端に形成され上記鋸止状歯に嵌着する固定手段とを具えたことを特徴とする。

【0006】

【作用】

このような構成によれば、V字状2つ折りリンクの自由端を鋸止状歯に嵌着固定することで、アクセルペダルのフルスロットル位置で、V字状2つ折りリンクの中折れ部がダッシュボードに当接して、アクセルペダルの下限位置を規制する。

鋸止状歯をダッシュボード側に設けた場合は、2つ折りリンクの中折れ部はアクセルペダルの下面中央部に当接することで、同一要領でアクセルペダルの下限位置を規制する。

【0007】

【実施例】

本考案の一実施例を図面について説明すると、図1はその側面図、図2は図1のII-II断面図、図3は図1のIII-III断面図、図4は図1の変形例を示す側面図、図5は図4のV部を示す拡大図である。

【0008】

上図において、図6と同一の符番はそれぞれ同図と同一の部材を示し、まず図1～3において、1はアクセルペダル01の下部下面に適宜長さにわたって形成された鋸歯状歯、2は鋸歯状歯1の若干上方でアクセルペダルの下面に突設され

たアイピース3に上端がピン4で枢着されほぼ下方へ延びる上部リンク5と、上部リンク5の下端に前端がピン6で枢着され後端が後上方へ延びる下部リンク7とで形成される2つ折り自在のV字状リンクであり、下部リンク7の後端には鋸歯状歯1に係合固定される爪8が突設されるとともに側方にロックピン9が突設されている。。

10はアクセルペダル01の側面に一体的に成形されたポリプロピレン製のL字断面を有するロックヒンジである。

【0009】

このような構造において、まず図1に示すように、破線で示すアイドル位置にあるアクセルペダル01を実線で示すフルスロットル位置に回動した状態で、2つ折りリンク2を実線で示すようにV字状に折り曲げてその中折れ部である頂点をダッシュボード06に当接させる。

次に、図2に破線で示すロックヒンジ10を実線に示す位置に折り曲げたのち、図3に示すように、その先端ヘッドピン11をアクセルペダル01の下面に形成された小口溝12中に押し込んで下部リンク7の先端を鋸歯状歯1に対してロックするのである。

このようにしてフルスロットル位置において、ストッパーリンクをアクセルペダルに対してロックすることにより、簡単な操作で、フルスロットル位置でのアクセルペダルとダッシュボードとの間のすきまがいかに小さい場合でもストッパーをセットすることが可能となる。

ここで、ロックヒンジ10はアクセルペダルと同一のポリプロピレンの一体成形として形成するので、コスト低廉でしかもヒンジとしての耐久性を十分具えたものとなる。

【0010】

なお、2つ折自在のV字状リンク及び鋸歯状歯は図4に示すようにダッシュボード側に付設してもよい。

このような変形例においては鋸歯状歯はポリプロピレンで形成し、その円弧状歯型は図5に示すように開口部の長さ δ を円弧の直径 d より若干小さくすることで下記リンク先端の直径 d のピンがワンタッチで圧入嵌着するようにするとよい

いずれの場合でも、狭いスペースにもかかわらずアクセルペダルの下限位置はワンタッチで設定することができ、しかもダッシュボードに透孔をあけることは不要となる。

【0011】

【考案の効果】

要するに本考案によれば、運転室フロアに突設されたブラケットにピンで下端が枢着され前傾姿勢で斜め前上方に延びるアクセルペダルにおいて、上記アクセルペダルの下部下面に長手方向の適宜長にわたって形成された鋸歯状歯と、上記鋸止状歯の若干前方で上記アクセルペダルの下面に上端がピンで枢着され中央部がピンで中折れ自在に屈曲するV字状2つ折りリンクと、上記2つ折りリンクの後端に形成され上記鋸止状歯に嵌着する固定手段とを具えたことにより、ダッシュボードとアクセルペダルとの間の空間が狭い場合でもダッシュボードに透孔を設けることなくストッパーの取付け及び調整を容易に行うことのできるストッパー付アクセルペダルを得るから、本考案は産業上極めて有益なものである。

